

2025/12/11

【主催】横浜市 【共催】神奈川県
【協力】損害保険ジャパン株式会社
【後援】(公財) 神奈川産業振興センター
(公財) 横浜企業経営支援財団

企業向けBCPセミナー

生成A I の活用と サイバー攻撃への備え

～生成AIの活用とリスク～

〔講師〕

テイクストーンズコンサルティング合同会社

業務デザイン・ラボ

千葉商科大学 商経学部

武石 ゆかり



自己紹介

～経営をITと人の心で結ぶ～

テイクストーンズコンサルティング合同会社 代表社員

～業務をデザインしてもっと楽にもっと楽しくもっと幸せに働こう～

業務デザイン・ラボ 代表

～100年いきる良識を。～

千葉商科大学 商経学部 特任講師

武石 ゆかり

中小企業診断士・ITコーディネータ

キャリアコンサルタント・産業カウンセラー



【キャリア】

(独)中小企業基盤整備機構にて26年間勤務後、2023年6月に経営コンサルタントとして独立

【専門】

デジタル化・DX・戦略・経営計画策定・人的資本経営(採用・定着・育成の仕組化)・生産性向上

【家族】夫と双子を含む3人の息子

【趣味】沖縄剛柔流空手(今年三段に挑戦中) + BTSの推し活 + HAF(ハード秋山ファン)活

【特技】高速超適当家事

- 1. 事業継続力強化計画の概要とメリット**
- 2. 生成AIとは**
- 3. 生成AI活用におけるリスク**
- 4. 取るべきリスク対策**
- 5. まとめ**

第1章

事業継続力強化計画 の概要とメリット

(視点)

- ・BCP・事業継続力強化計画とは？
- ・やると何がいの？

1. 事業継続力強化計画の概要とメリット



1-1.BCP・事業継続力強化計画（ジギョケイ）とは

重要業務を止め
ないで済む対策



事業の継続

万が一、業務が
止まっても早く
復旧する対策



従業員と家族の命・生活を守るために、顧客・取引先への供給責任を果たし、倒産リスクを下げるために前もって行う『経営の保険』的な計画の事

1. 事業継続力強化計画の概要とメリット



1-1. 事業継続力強化計画（ジギョケイ）とは

- ・ **中小企業強靱化法**に基づき、中小企業が策定した防災・減災などの**事前対策の計画**を経済産業大臣が「事業継続力強化計画」として認定する制度
- ・ 「中小企業向けの取り組みやすいBCP（**簡易版BCP**）」として整理されている
- ・ 地震・台風・水害などの自然災害・感染症・**サイバー攻撃**なども対象に拡大（2020年10月～）

デジタル活用に伴って起こりえる
リスクである『**サイバー攻撃対策**』
としても必須！



1. 事業継続力強化計画の概要とメリット



1-2. 事業継続力強化計画策定のメリット

- ① **税制優遇（防災・減災設備の優遇税制）** 対象設備への投資について、特別償却や税額控除などが適用される制度が利用可能
- ② **金融支援（低利融資・信用保証の優遇）** 日本政策金融公庫の低利融資（BCP資金）：設備資金の金利を基準金利から0.9%引き下げ など
- ③ **補助金の加点・優先採択** 一部の補助金で、認定企業であることが審査時の加点対象となり、採択されやすくなる
- ④ **信頼性・イメージ向上** 中小企業庁HPで認定企業として公表認定ロゴマークを名刺・Webなどに使用可能→ 取引先・金融機関・従業員・採用候補者へのアピールになる

取って損なし！成長を目指す企業には、得しかない！！

第2章

生成AIとは

(視点)

- ・生成AIって何？
- ・どんな事が出来るの？

2.生成AIとは



1-1.生成AIとは

- **生成AIとは、既存のデータからパターンや関係性を学習し、それに基づいて全く新しい、オリジナルのコンテンツ（テキスト、画像、音声、動画、コードなど）を生成する能力を持つ人工知能の一分野**



ChatGPT

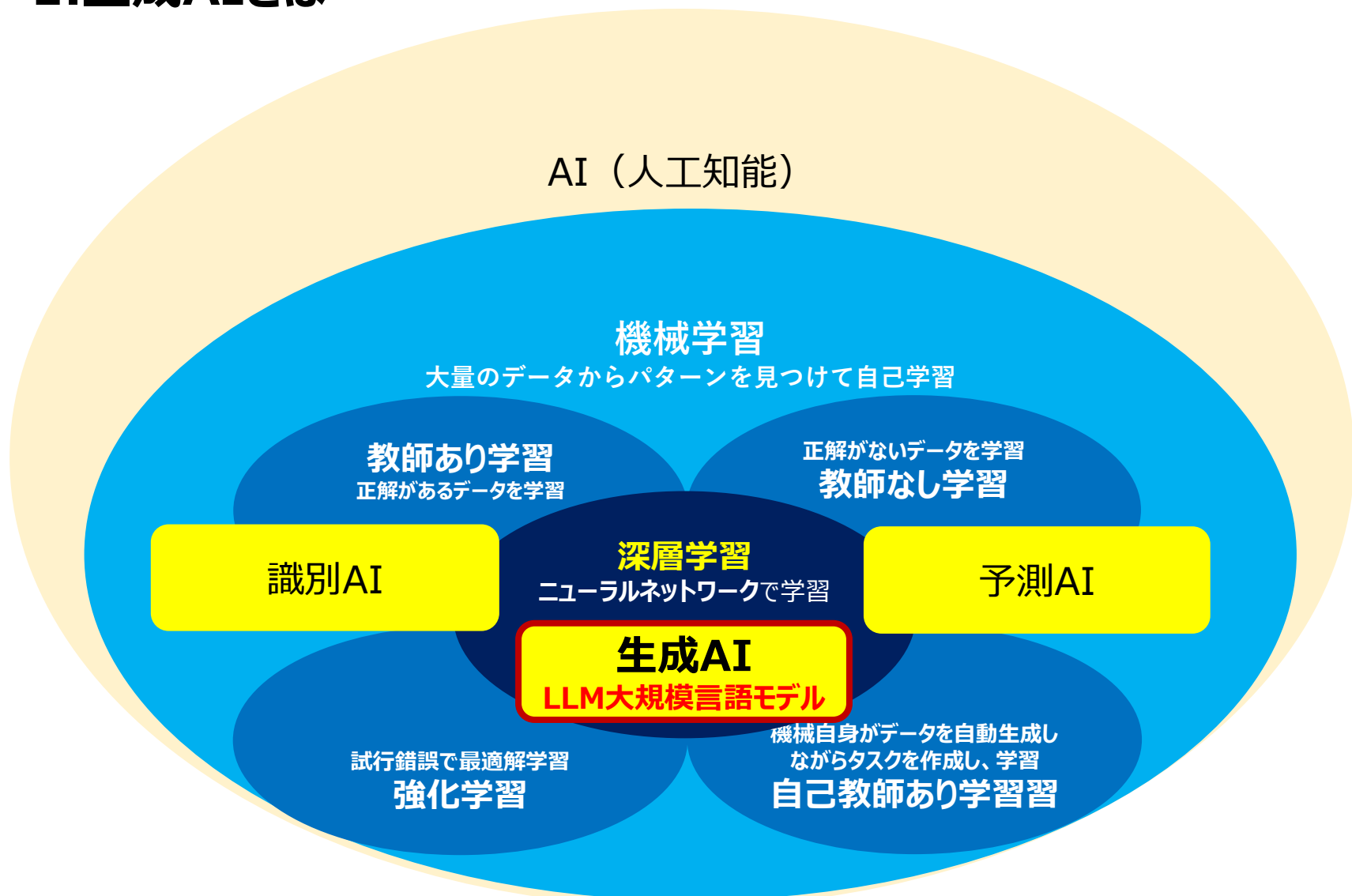


Microsoft Copilot

2.生成AIとは



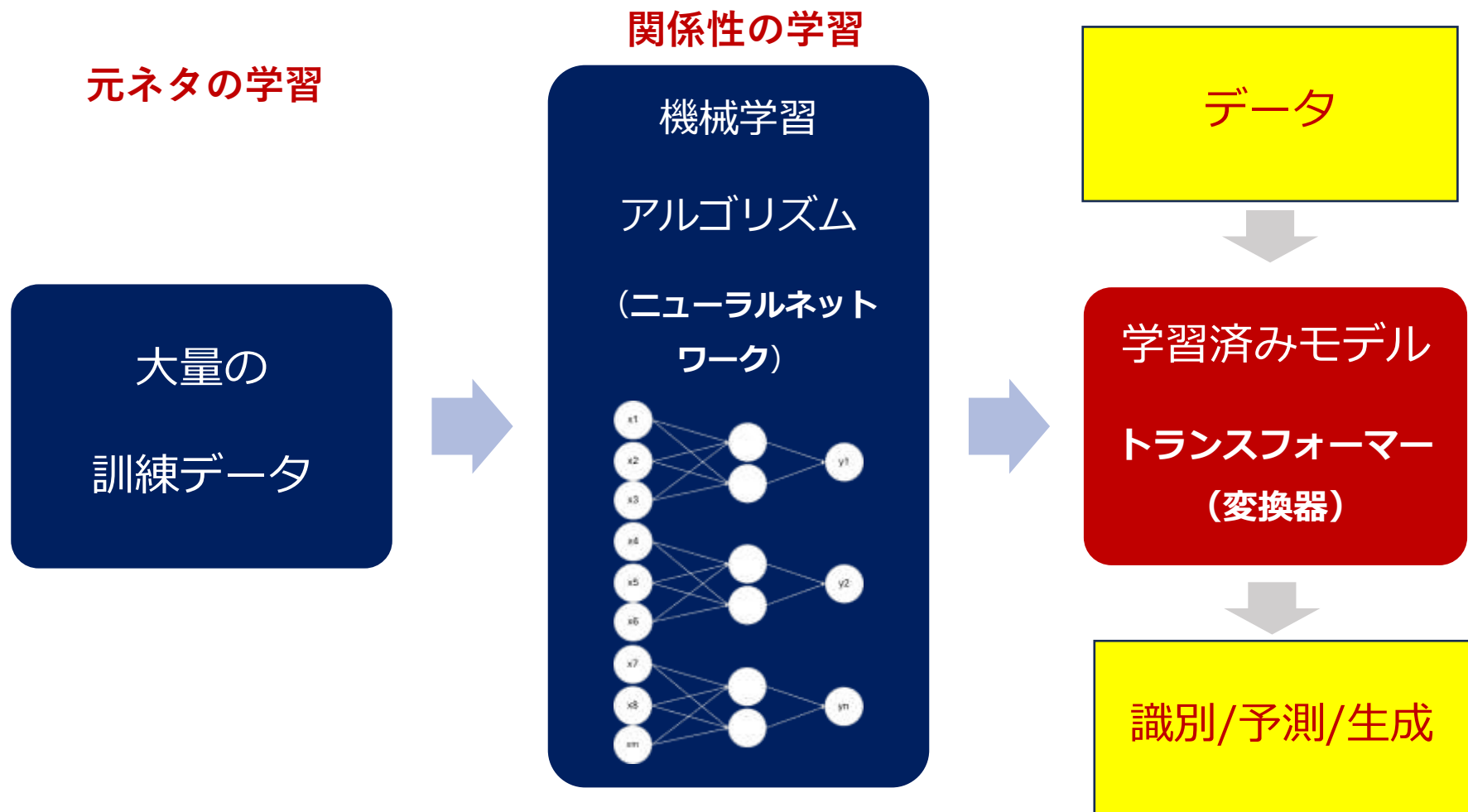
2-1.生成AIとは



2.生成AIとは



2-2.生成AIのしくみ

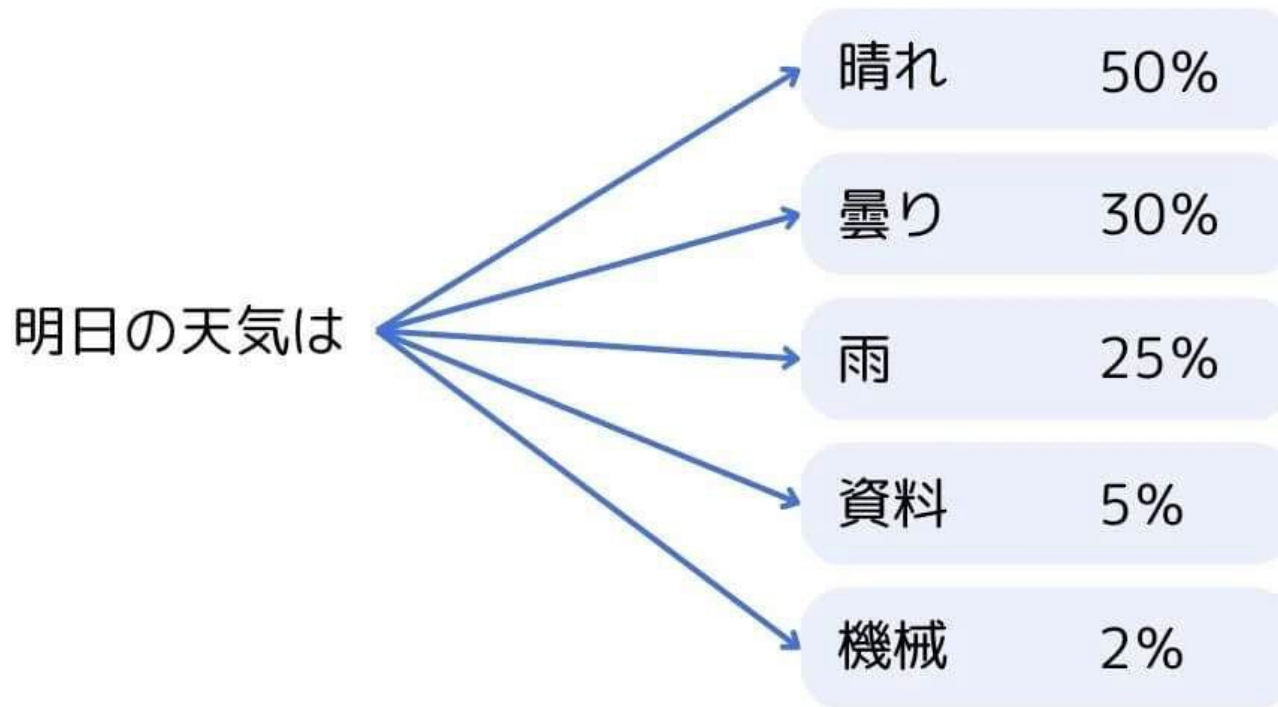


2.生成AIとは



2-2.生成AIのしくみ～大規模言語モデル（LLM）～

言語モデルのイメージ



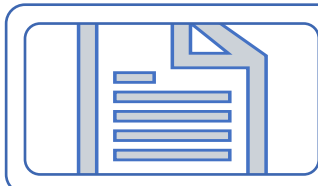
確率が高い単語を割り当てる

参照：<https://www.sedesign.co.jp/ai-blog/llm>

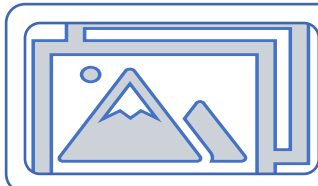
2.生成AIとは



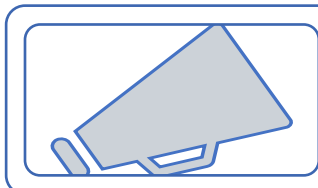
2-3.生成AIで出来る事



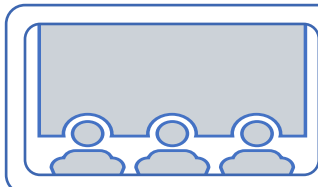
テキスト生成



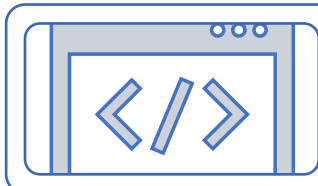
画像生成



音声生成



動画生成



コード生成

2.生成AIとは



2-3.生成AIで出来る事～汎用業務～

汎用業務	具体的な活用例	期待される効果
①指示内容のまとめ	上司、客先とのやり取りの録音、文字起こし、要約、TODOリスト作成、実行確認のアラート	指示されたことを忘れにくくなり、怒られなくなる→ストレス低減
②議事録作成・共有		議事録作成時間の短縮 会議決定内容の即時共有→疎外感の低減
③メール、報告書等の作成	入札資料や報告書等、提案書などのたたき台を作成する	調査資料収集・出典確認・資料作成時間の短縮 構造化によるわかりやすさの向上 図表・写真作成によるわかりやすさの向上
④新規アイデアの壁打ち・提案書の作成	市場調査や顧客ニーズの分析を踏まえた、新規アイデアの提案書の作成	顧客ニーズ等のデータ分析時間の短縮 24時間稼働できる壁打ち相手の存在による質の向上 提案書作成時間（図表、イラスト含む）の短縮
⑤調査	幅広い公開情報を集め、要約する	調査時間の短縮＋情報収集の質の向上 見る人の理解度に合わせた要約により、理解度向上・高速化
⑥翻訳	日本語のマニュアルや社内資料を多言語に翻訳し、社内の外国人材にも即時情報共有する	外国人材の言語の壁の低減→外国人材の疎外感の低減 翻訳作業時間の短縮
⑦業務マニュアルの作成	業務の要素と実行フローを分解し、図解を入れたわかりやすい業務マニュアルを多言語で作成する	業務フローの可視化によるわかりやすさの向上 シナリオ作成時間・マニュアル作成時間の短縮 撮影時間・動画編集時間の短縮
⑧動画マニュアルの作成	更に分かりやすい動画業務マニュアルを作成する	翻訳時間の短縮＋外国人材の疎外感の低減 データ化による情報共有範囲の拡大
⑨社内ルール（規程等）の自動応答をするチャットボットの作成	社内ルールをまとめた資料を学習させ、その社内ルール情報だけに基づいたQ&Aをチャットボットとして実装する	社内ルール資料を探す、調べる時間の短縮 社内ルール資料を読んで理解する時間の短縮 社員の質問に24時間回答出来る仕組みを保有することによる、社員満足度の向上
⑩生成AIへの指示文書（プロンプト）の相談・提案	生成AIで期待するような回答が出来ない時、どのような指示文書（プロンプト）を入れたらよいか相談して提案してもらう	生成AI活用レベルの向上 個々人の発想・創造力の向上や学習促進

2.生成AIとは



2-3.生成AIで出来る事～部門別業務～

区分	部門	具体的な活用例	期待される効果
フロント業務	マーケティング・広報	広告コピー・SNS投稿・ブログ記事作成支援	コンテンツ制作時間短縮、多様なパターンテスト
		自社製品のキャンペーンメール生成	顧客エンゲージメント向上
		市場トレンド・競合分析レポート作成補助	迅速な市場把握、戦略立案支援
		広告用画像・動画素材の生成	制作コスト・時間削減、クリエイティブ多様化
	営業	提案書・プレゼン資料の草稿作成	資料作成時間削減、提案の質向上
		顧客データ分析によるターゲティング顧客への効果的アプローチ方法のアイデア創出	営業効率向上、成約率向上
		営業メール・フォローアップ文面作成支援	コミュニケーション効率化
		顧客ヒアリング内容の要約・報告書作成	情報共有促進、報告業務効率化
	顧客対応	FAQ自動生成・チャットボットによる一次対応	問い合わせ対応工数削減、24時間対応
		問い合わせメール返信テンプレート生成	応答時間短縮、対応品質均一化
		顧客の声（VOC）分析によるサービス改善点抽出	顧客満足度向上
		通話内容の文字起こし・要約・分析	オペレーター支援、品質管理向上
バックオフィス業務	人事	求人票作成支援	採用担当者の業務負荷軽減
		履歴書・職務経歴書のスクリーニング補助	候補者選考の効率化
		社員向け研修資料・eラーニングコンテンツ作成支援	研修開発効率化
		社内規定に関する問い合わせ対応（チャットボット）	人事部門の問い合わせ対応工数削減
	経理・財務	請求書・領収書のデータ入力補助（OCR連携）	データ入力作業の効率化
		財務データ分析・レポート作成支援	経営状況把握の迅速化
		不正取引検知支援	リスク軽減
	法務	契約書ドラフト作成・レビュー支援	法務業務の効率化、リスク低減
		法令・判例リサーチ支援	調査時間短縮
		コンプライアンスチェック補助	コンプライアンス体制強化
	経営企画	経営戦略・事業計画作成支援	経営企画業務の効率化
		KPI、KGIの作成支援、進捗確認、分析支援	経営状況把握の迅速化
ミドル業務	開発（IT/エンジニアリング）	コード生成・補完・デバッグ支援	開発スピード向上、バグ削減
		技術ドキュメント作成支援	ドキュメント作成工数削減
		テストケース自動生成	テスト工程の効率化
	運用・オペレーション	システムログ分析による異常検知	システム安定稼働、障害予防
		運用レポート自動生成	報告業務効率化
		需要予測・在庫最適化支援（製造・小売）	在庫コスト削減、欠品・廃棄ロス削減
		品質管理・不良品検知支援（製造）	品質向上、検査コスト削減
	研究開発（R&D）	文献調査・要約	研究効率向上
		データ分析・仮説生成支援	新たな発見の促進
		シミュレーション・合成データ生成	実験コスト削減、モデル精度向上

2.生成AIとは



2-4.デジタル化全体の中でAIが出来る事

デジタルツールでの情報発信

①販促・情報提供

HP,SNS等

人間のやっている手作業を
システムやAIで代替

②作業の自動化

システム化

人の手作業をシステムにやらせる
(マクロ、RPA、会計ソフト、生産管理ソフト等)

AI識別

人の識別作業をAIにやらせる
(検査、議事録作成、要約、翻訳等)

AI実行

人の作業をAIにやらせる
(自動運転等)

今まで不可能だったレベルでの
意思決定のためのデータを準備
する

③意思決定の高度化

見える化

今まで見えなかった粒度での見える化
(データ作成)

予測

大量データの相関関係から確率や値を算出
(高度な分析)

最適化

制約下で最も成果が出る選択肢を発見
(最適解の発見)

(参考) 実務担当者のためのビジネスプロセスDX実装ガイドブック 上田剛著

2.生成AIとは



2-5.生成AIの概要まとめ

生成AIは、人間では不可能なレベルでの膨大なデータの学習と、複雑かつ進化する回答生成プロセスを持ち、新しいコンテンツの生成という形で、創造的活動に役立つもの

2.生成AIとは



2-6.生成AIを活用してみよう

1

質問・命令を入力

テキストボックスに質問や指示を日本語で入力します。

2

回答を受け取る

生成AIが文章を生成し、詳細な回答を提供します。

3

会話を続ける

対話形式で質問を重ねることができます。
前後の文脈を理解します。

第3章

生成AI活用におけるリスク

(視点)

- ・生成AIって便利だけど、どんなリスクがあるの？
- ・生成AIを活用するにあたって注意しておくべきことは？

3.生成AI活用におけるリスク



3-1.生成AIをなんのために使うのか？

効率化

考えの整理
構造化
ヒント発見
アイディ創造

→どちらにも活用可能。しかし、『機械』の事を全面的に信じ込んでいいの？
もし、それで事足りるなら、『人間』はいらない。
『人間』がすべきことをしないと、失敗や危険に繋がる可能性アリ

3-2.人間がすべきこと

**判断
意思決定
責任ある活用**

3.生成AI活用におけるリスク



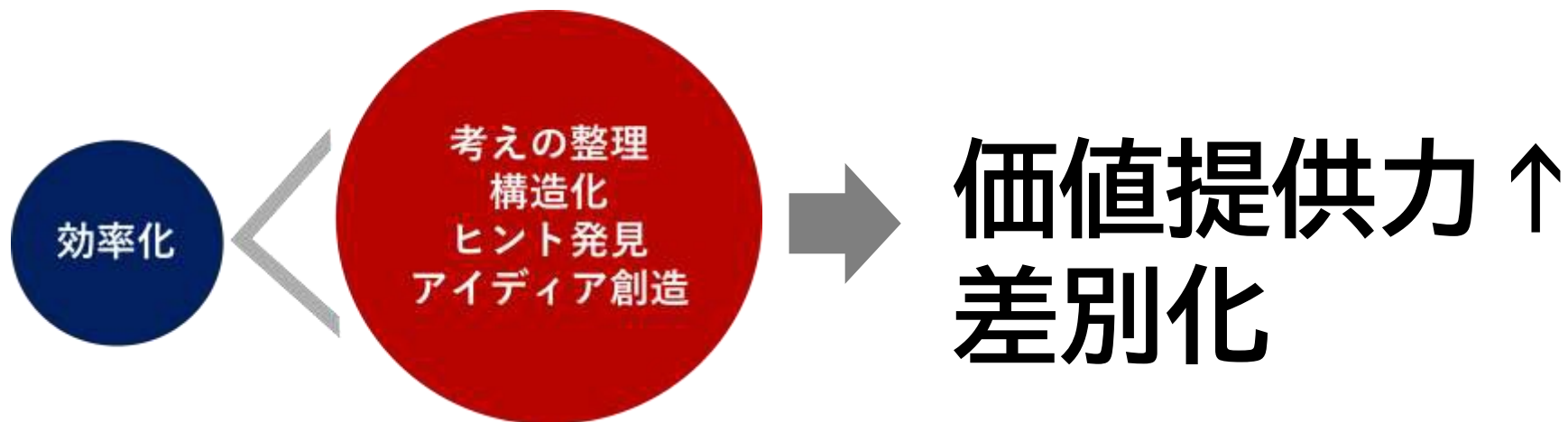
3-3.生成AI活用上の注意点 1

- ① **目先の『楽』に依存しない**
- ② **生成AIの活用目的を正しく理解する**
- ③ **目的と手段を混同しない**
- ④ **リスクを理解する**
- ⑤ **責任ある活用の仕方を理解する**

3.生成AI活用におけるリスク



3-4.生成AI活用の目的



出てきた予測に対する人の判断

正しい答えをもらうため（幻想）と誤解したまま生成AIを使うと、生成AIの本来の目的である『**創造**』をするための『**判断力**』が落ちる。これが最大のリスク！
他社も生成AIを活用する中で、競争力を維持するためには、どう使いこなすかが勝負の分かれ目で、そのためにも、原点となる『**目的の正しい理解**』が**最重要**！

『楽』の解釈

『楽』を選ぶか、『楽しい』を選ぶか？

同じ『楽』という漢字でも、『ラク』にするか『たのしい』にするかは、その人の価値観次第

『楽』を選ぶと、自分らしい価値を産めなくなり、受け身になる
適度な『楽』は大切だが、『楽』だけを求めると、人生に意味や意義を感じられなくなり、受け身の人生になる

『楽しい』を選ぶと、苦労や困難が避けられない
が、人生の意味ややりがいを感じられ、主体的な人生になる

さて、あなたは、どちらを選ぶ？

3.生成AI活用におけるリスク



3-5.生成AI活用におけるリスク～責任ある活用のために～

- ①誤情報の生成（ハルシネーション）
- ②倫理観の問題（バイアスと偏見）
- ③著作権侵害
- ④情報漏洩
- ⑤依存（創造力・判断力の弱体化）
- ⑥運用不全

3.生成AI活用におけるリスク



3-5.生成AI活用におけるリスク

①誤情報の生成（ハルシネーション）

生成AIは「予測」を創造して出すので、必ずしも「正しい答え」とは限らない

精度が上がっており、ハルシネーションのリスクはさがっているものの、確認をしないで出すのはもってのほか！ 所詮、予測！ **確認必須**

3.生成AI活用におけるリスク



3-5.生成AI活用におけるリスク

②倫理観の問題（バイアスと偏見）

生成AIは意思や倫理観を持たない
学習済データから予測を創造して出すので、
学習したデータの中にある倫理的な問題が
クリアされていない事がある
人の判断が重要なるので**確認必須**

3.生成AI活用におけるリスク



3-5.生成AI活用におけるリスク

③著作権侵害

生成AIが出した回答の中に、他者の著作権を侵害するものが含まれる可能性がある
活用に当たっては、人が著作権侵害をしていないかを**確認必須**

3.生成AI活用におけるリスク



3-5.生成AI活用におけるリスク

④情報漏洩

生成AIにデータを学習させるとき、外部に出してはいけない情報を入れてしまい、情報漏洩に繋がる場合がある

セキュリティを確保した生成AIを使うと共に社内ルール策定必須

3.生成AI活用におけるリスク



3-5.生成AI活用におけるリスク

⑤依存（創造力・判断力の弱体化）

生成AIは業務効率化にも寄与するため、使い慣れるうちに「楽」になり、本来目的を忘れ、依存するようになる

依存すると、受け身になり、目的と手段をはき違えて創造力や判断力を弱体化させるので、**定期的な目的の確認と学習が必須**

3.生成AI活用におけるリスク



3-5.生成AI活用におけるリスク

⑥運用不全

生成AIは、使い慣れるうちに「楽」になり、本来目的を忘れ、自分勝手に自由に使いたくなる

業務上の活用ルールや範囲を決めておかないと、ガバナンスが利かない状態に陥るため、**社内ルール策定と定期チェックが必須**

3.生成AI活用におけるリスク



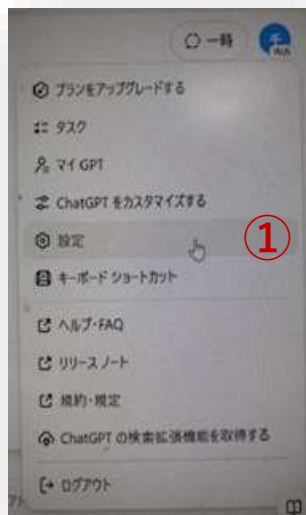
3-6.生成AI活用におけるリスクのまとめ～責任ある活用のために～

- ・嘘もつくし、正しい答えとは限らない内容が含まれるため、**原典確認と人による判断は必須**
- ・あくまで機械で人ではないし、魔法でもない
- ・情報漏洩リスク対策として
 - ①**セキュリティ確保**(有料版使用とオプトアウト機能OFF)
 - ②**社内活用ルール策定**
- ・無意識の依存に注意を払い、定期的に活用状況確認と学習機会を設ける

AIに学習されないためのオプトアウト機能

オプトアウト機能の設定

- ① 左下の自分の名前（またはメール） **をクリック表示されたメニューから **設定（Settings）** を選択
- ② **データコントロール（Data Controls）** をクリック
- ③ **すべての人のためにモデルを改善する（Improve the model for everyone）** をクリック
- ④ **すべての人のためにモデルを改善する（Improve the model for everyone）** という項目を**オフ**にして、実行ボタンをクリック



第4章

取るべきリスク対策

(視点)

- ・生成AIを業務で使用するためにやるべきリスク対策は？

4.取るべきリスク対策



4-1.リスク対策～責任ある活用のために～

リスク	対策例
①誤情報生成 (ハルシネーション)	クロスチェック、信頼情報源との照合、 人間による最終確認 、コンプライアンス教育
②倫理観の問題 (バイアス、偏見)	
③著作権侵害	商用利用可能なAIツールの選定、法務部門による事前確認
④情報漏洩	ガイドラインの整備、社内ルールの明文化、入力禁止情報リストの作成、学習利用停止設定、アクセス権限の細分化、基本的なデジタルセキュリティ対策
⑤依存 (創造力・判断力弱体化)	従業員教育の徹底、活用状況のモニタリング
⑥運用不全	CAIO(Chief AI Officer)の設置、推進体制の整備、セキュリティパトロールの実施

4.取るべきリスク対策



4-2.リスク対策の何から進めるか～最低限の責任を果たすために～

【応用】

②ガイドラインの策定と教育



【基礎・基本】

①デジタルセキュリティ対策

4.取るべきリスク対策



4-3.セキュリティ対策の基礎～まず自社診断から!!～

中小企業・小規模事業者の皆様へ

新

5分でできる!

情報セキュリティ自社診断

最新動向への対応、できていますか?

脅威や攻撃の変化



IT環境の変化



取り返しのつかないことになる前に
あなたの会社のセキュリティ状況を

「5分でできる! 自社診断」でチェック!



<https://www.ipa.go.jp/security/sme/f55m8k0000001waj-att/000055848.pdf>

診断編

診断項目	No.	診断内容	チェック			
			実施している	一部実施している	実施していない	不明
Part 1 基本的制度	1	パソコンやスマホなど情報機器の OS やソフトウェアは常に最新の状態にしていますか?	4	2	0	-1
	2	パソコンやスマホなどにはウイルス対策ソフトを導入し、ウイルス定義ファイル ^{※1} は最新の状態にしていますか?	4	2	0	-1
	3	パスワードは破られにくい「長く」「複雑な」パスワードを設定していますか?	4	2	0	-1
	4	重要情報 ^{※2} に対する適切なアクセス制限を行っていますか?	4	2	0	-1
	5	新たな脅威や攻撃の手口を知り対策を社内共有する仕組みはできていますか?	4	2	0	-1
Part 2 従業員としての注意	6	電子メールの添付ファイルや本文中の URL リンクを介したウイルス感染に気をつけていますか?	4	2	0	-1
	7	電子メールや FAX の宛先の送信ミスを防ぐ取り組みを実施していますか?	4	2	0	-1
	8	重要情報は電子メール本文に書くのではなく、添付するファイルに書いてパスワードなどで保護していますか?	4	2	0	-1
	9	無線 LAN を安全に使用するために適切な暗号化方式を設定するなどの対策をしていますか?	4	2	0	-1
	10	インターネットを介したウイルス感染やマルウェアの書き込みなどのトラブルへの対策をしていますか?	4	2	0	-1
	11	パソコンやサーバーのウイルス感染、故障や誤操作による重要情報の消失に備えてバックアップを取得していますか?	4	2	0	-1
	12	紛失や盗難を防止するため、重要情報が記載された書類や電子媒体は机の上に置かず、書庫などに安全に保管していますか?	4	2	0	-1
	13	重要情報が記載された書類や電子媒体を持ち出す時は、盗難や紛失の対策をしていますか?	4	2	0	-1
	14	離席時にパソコン画面の覗き見や勝手な操作ができないようにしていますか?	4	2	0	-1
	15	関係者以外の事務所への立ち入りを制限していますか?	4	2	0	-1
Part 3 組織としての対策	16	退社時にノートパソコンや備品を施設保管するなど盗難防止対策をしていますか?	4	2	0	-1
	17	事務所が無人になる時の鍵管理対策を実施していますか?	4	2	0	-1
	18	重要情報が記載された書類や重要なデータが保存された媒体を破壊する時は、復元できないようにしていますか?	4	2	0	-1
	19	従業員にセキュリティに関する教育や注意喚起を行っていますか?	4	2	0	-1
	20	従業員にセキュリティに関する教育や注意喚起を行っていますか?	4	2	0	-1
	21	個人所有の情報機器を業務で利用する場合のセキュリティ対策を明確にしていますか?	4	2	0	-1
	22	重要情報の授受を伴う取引先の契約書には、秘密保持条項を規定していますか?	4	2	0	-1
	23	クラウドサービスやウェブサイトの運用等で利用する外部サービスは、安全・信頼性を把握して選定していますか?	4	2	0	-1
	24	セキュリティ事故が発生した場合に備え、緊急時の体制整備や対応手順を作成するなど準備をしていますか?	4	2	0	-1
	25	情報セキュリティ対策（上記 1～24 など）をルール化し、従業員に明示していますか?	4	2	0	-1

※1 コンピュータウイルスを検出するためのデータベースファイル（ウイルス定義ファイル）とも呼ばれます。
※2 重要情報とは営業秘密など事業に必要で権限によって適切なアクセスや開示が制限され、従業員が個人情報などを管理する役割を担うこととなる。

診断の後は次ページ以降を読んで対策を検討してください。

点
A+B+C
合計

4.取るべきリスク対策



4-4.セキュリティ対策の基礎～次は、社員への基礎教育～



- 1 華麗なる情報セキュリティ対策 #1 「修正プログラムの適用」
IPA Channel • 5.7万 回視聴 • 2 年前 1:46
- 2 華麗なる情報セキュリティ対策 #2 「セキュリティソフトの導入および定義ファイルの最新化」
IPA Channel • 3.7万 回視聴 • 2 年前 1:57
- 3 華麗なる情報セキュリティ対策 #3 「パスワードの適切な設定と管理」
IPA Channel • 4.8万 回視聴 • 2 年前 1:57
- 4 華麗なる情報セキュリティ対策 #4 「不審なメールに注意」
IPA Channel • 5.7万 回視聴 • 2 年前 1:51
- 5 華麗なる情報セキュリティ対策 #5 「USBメモリ等の取り扱いの注意」
IPA Channel • 4.3万 回視聴 • 2 年前 1:47
- 6 華麗なる情報セキュリティ対策 #6 「社内ネットワークへの機器接続ルールの遵守」
IPA Channel • 3.8万 回視聴 • 2 年前 1:59
- 7 華麗なる情報セキュリティ対策 #7 「ソフトウェアをインストールする際の注意」
IPA Channel • 3.4万 回視聴 • 2 年前 1:52
- 8 華麗なる情報セキュリティ対策 #8 「パソコン等の画面ロック機能の設定」
IPA Channel • 3.5万 回視聴 • 2 年前 1:55
- 9 華麗なる情報セキュリティ対策 統合版
IPA Channel • 5.3万 回視聴 • 2 年前 14:39

https://youtu.be/NowlVTka9eM?si=By4johtA3c_cF8vp

4.取るべきリスク対策



4-5.セキュリティ対策の応用～生成AIガイドラインを作る～

生成AIの利用ガイドライン

生成AIの活用を考える組織がスムーズに導入を行っていただけるように、利用ガイドラインのひな形を策定し、公開します。

このひな形を参考に、それぞれの組織内での活用目的等に照らして、適宜、必要な追加や修正を加えて使用ください。

※2023年5月に公開した第1版に改訂を加えた第1.1版を公開（2023年10月～）しています。

※『生成AIの利用ガイドライン』に関するご意見やご感想は[こちら](#)よりお寄せください。

※JDLA公式Youtubeチャンネルにて公開中の記者発表の模様は、2023年5月1日公開の第1版の内容に基づいています。現在公開中のバージョンとは異なりますのでご注意ください。



一般社団法人
日本ディープラーニング協会

<https://www.jdla.org/document/#ai-guideline>



生成AIの利用ガイドラインの作成にあたって

1 ファイル 14.71 KB

ダウンロード



生成AIの利用ガイドライン【条項のみ】(第1.1版, 2023年10月公開)

1 ファイル 24.14 KB

ダウンロード



生成AIの利用ガイドライン【簡易解説付】(第1.1版, 2023年10月公開)

1 ファイル 33.45 KB

ダウンロード



生成AIの利用ガイドライン（画像編）【条項のみ】(第1版, 2024年2月公開)

1 ファイル 26 KB

ダウンロード



生成AIの利用ガイドライン（画像編）【簡易解説付】(第1版, 2024年2月公開)

1 ファイル 35.2KB

ダウンロード

4.取るべきリスク対策



4-6.セキュリティ対策の応用～セキュリティリスクを確認する～

IPA 独立行政法人 情報処理推進機構

IPAについて お問い合わせ Eng

情報セキュリティ 試験情報

情報セキュリティ

情報セキュリティトップページ >

重要なセキュリティ情報 >	脆弱性対策情報 >	情報セキュリティ10大脅威 >
情報セキュリティ安心相談窓口 >	ビジネスメール詐欺（BEC）対策 >	Emotet（エモテット）関連情報 >
協定・地域との連携 >	サイバーレスキュー隊 J-CRAT（ジェイ・クラート） >	サイバー情報共有イニシアティブ J-CSIP（ジェイシップ） >
攻撃情報の調査・分析事業 >	中小企業の情報セキュリティ >	セキュリティエコノミクス >
制御システムのセキュリティ >	IoTのセキュリティ >	暗号技術 >
ITセキュリティ評価及び認証制度（JISEC） >	セキュリティ要件適合評価及びラベリング制度（JC-STAR） >	IT製品の調達におけるセキュリティ要件リスト >
中小企業投資促進税制における認証製品リスト >	暗号モジュール試験及び認証制度（JCMVP） >	情報セキュリティサービス基準適合サービスリスト >
情報セキュリティ教材・ツール >	映像で知る情報セキュリティ >	情報セキュリティ関連ガイド >
調査・研究報告書 >	届出 >	相談 >
ひろげよう情報セキュリティコンクール >	情報セキュリティに関するセミナー・イベント >	

<https://www.ipa.go.jp/>

第5章

まとめ

(視点)

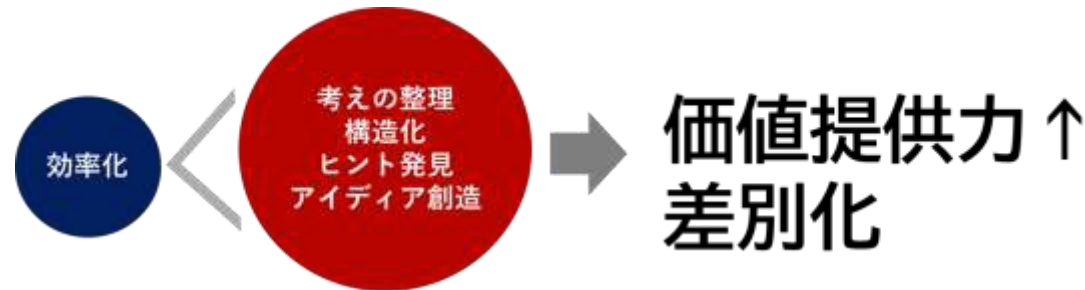
- ・生成AIをうまく活用していくために

5.まとめ～絶対に忘れてほしくない事～



目的

創造的活動



人の判断

注意点

- ① 目先の『楽』に依存しない
- ② 目的を理解する
- ③ 目的と手段を混同しない
- ④ リスクを理解する
- ⑤ 責任ある活用の仕方を理解する

リスク

- ① 誤情報の生成（ハルシネーション）
- ② 倫理観の問題（バイアスと偏見）
- ③ 著作権侵害
- ④ 情報漏洩
- ⑤ 依存（創造力・判断力の弱体化）
- ⑥ 運用不全

5.まとめ～絶対に忘れてほしくない事～



注意点

- ① 目先の『楽』に依存しない
- ② 目的を理解する
- ③ 目的と手段を混同しない
- ④ リスクを理解する
- ⑤ 責任ある活用の仕方を理解する

リスク

有料版を使う！
オプトアウト機能をOffにする！

- ① 誤情報の生成（ハルシネーション）
- ② 倫理観の問題（バイアスと偏見）
- ③ 著作権侵害
- ④ 情報漏洩
- ⑤ 依存（創造力・判断力の弱体化）
- ⑥ 運用不全



定期的に診断する



定期的に学習する



ルール策定する
情報収集する・相談する

**これでセミナーは終わります
ご清聴ありがとうございました**

皆様の今後のご活躍を祈念いたします

テイクストーンズコンサルティング合同会社

業務デザイン・ラボ

武石 ゆかり

<https://takestones.com>

<https://business-design-lab.com>

